

平成29年度「県民Webアンケート」 第12回 県内の公共交通に対する満足度に関するアンケート

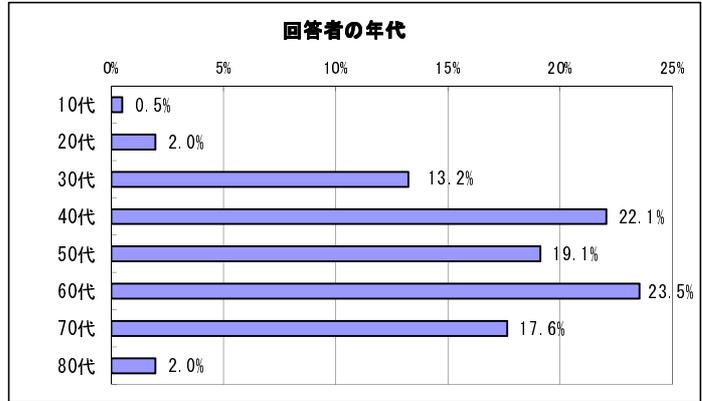
○実施期間 2017/12/7～2017/12/13

○アンケート会員数 240人 回収数 204件 (回収率 85.0%)

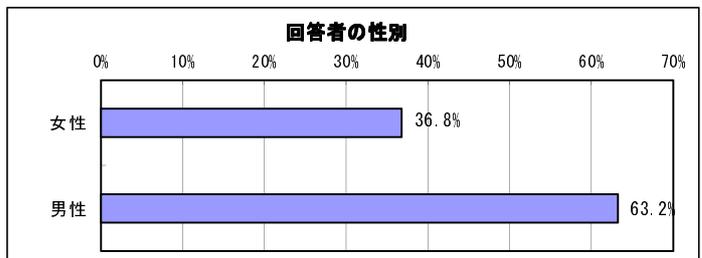
○奈良県では、効率的で持続可能な地域公共交通の確保に向けて、県、市町村、交通事業者等で構成される奈良県地域交通改善協議会において、毎年の利用状況等に基づいて路線バスの運行計画の見直しを行うなど継続的に改善に取り組んでいます。

改善効果の検証や更なる改善策の検討のために、公共交通に対する満足度や様々な利用目的・形態を踏まえた移動ニーズを継続的に把握することが必要であると考えており、県民の皆さまのご協力を頂き、今後の検討に際しての基礎資料とさせていただきますと考えております。

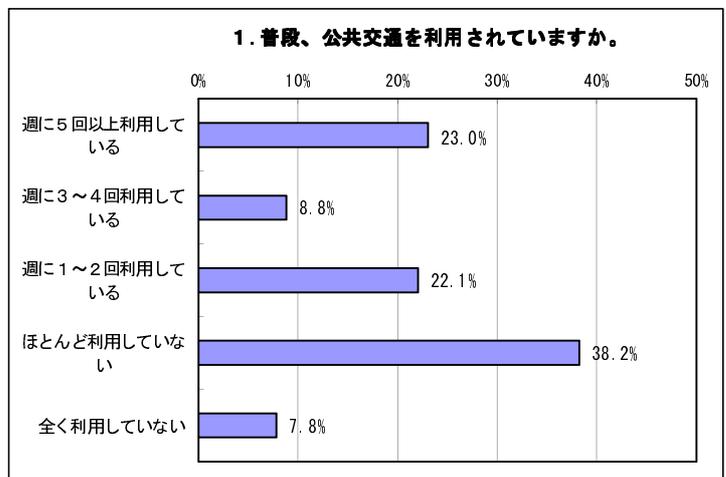
回答者の年代	回答数	比率
10代	1	0.5%
20代	4	2.0%
30代	27	13.2%
40代	45	22.1%
50代	39	19.1%
60代	48	23.5%
70代	36	17.6%
80代	4	2.0%
総計	204	100.0%



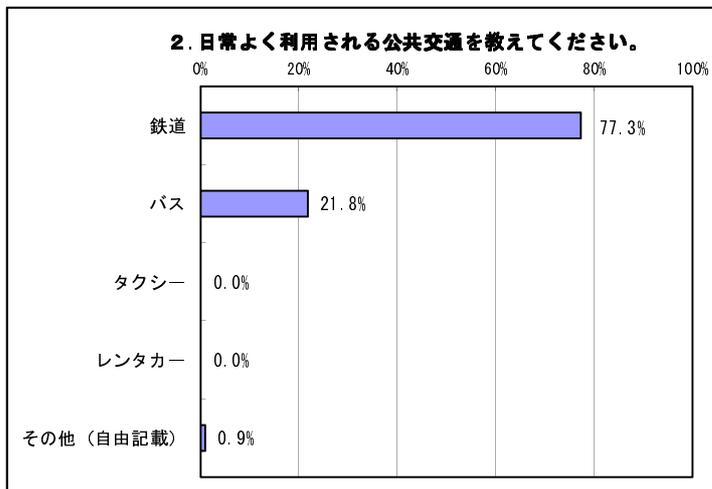
回答者の性別	回答数	比率
女性	75	36.8%
男性	129	63.2%
総計	204	100.0%



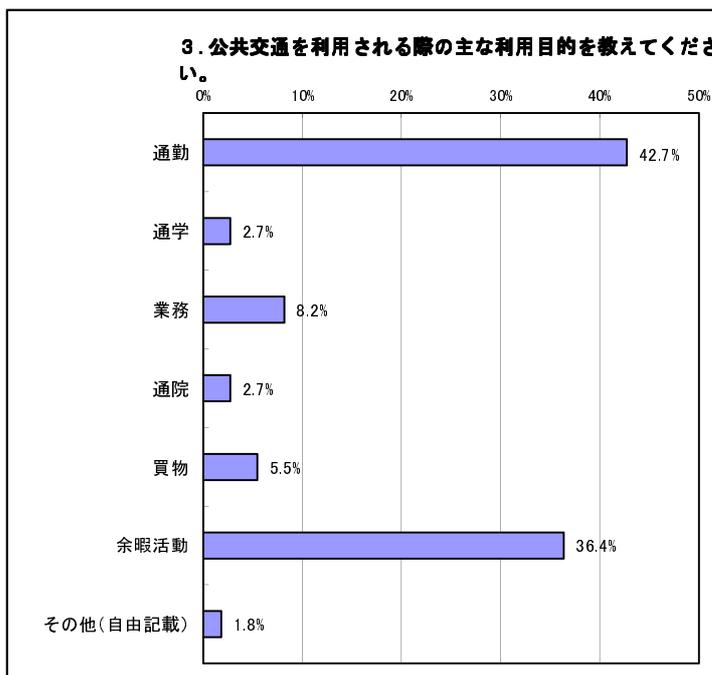
1. 普段、公共交通を利用されていますか。 ※「公共交通」は、鉄道、バス(路線、コミュニティバスなど)、タクシー、レンタカーなどを対象とします。 →この設問(Q1)で「1. 週に5回以上利用している」、「2. 週に3～4回利用している」又は「3. 週に1～2回利用している」を選択された方はQ2へ、「4. ほとんど利用していない」又は「5. 全く利用していない」を選択された方はQ5へ	回答数	回答対象者	比率
週に5回以上利用している	47	204	23.0%
週に3～4回利用している	18		8.8%
週に1～2回利用している	45		22.1%
ほとんど利用していない	78		38.2%
全く利用していない	16		7.8%
総計	204		100.0%



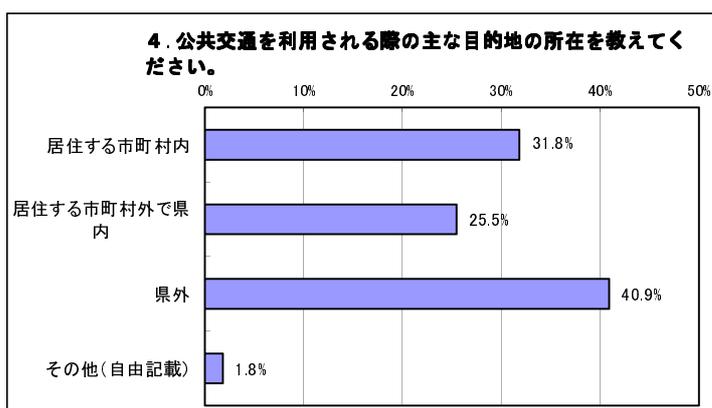
2. Q1で「1. 週に5回以上利用している」、「2. 週に3～4回利用している」又は「3. 週に1～2回利用している」を選択された方にお聞きします。日常よく利用される公共交通を教えてください。	回答数	回答対象者	比率
鉄道	85	110	77.3%
バス	24		21.8%
タクシー	0		0.0%
レンタカー	0		0.0%
その他(自由記載)	1		0.9%
総計	110		100.0%



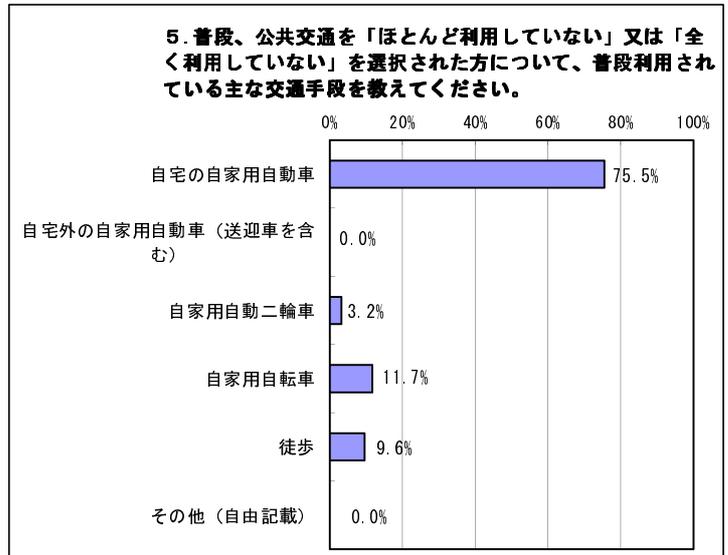
3. Q1で「1. 週に5回以上利用している」、「2. 週に3～4回利用している」又は「3. 週に1～2回利用している」を選択された方にお聞きします。公共交通を利用される際の主な利用目的を教えてください。	回答数	回答対象者	比率
通勤	47	110	42.7%
通学	3		2.7%
業務	9		8.2%
通院	3		2.7%
買物	6		5.5%
余暇活動	40		36.4%
その他(自由記載)	2		1.8%
総計	110		100.0%



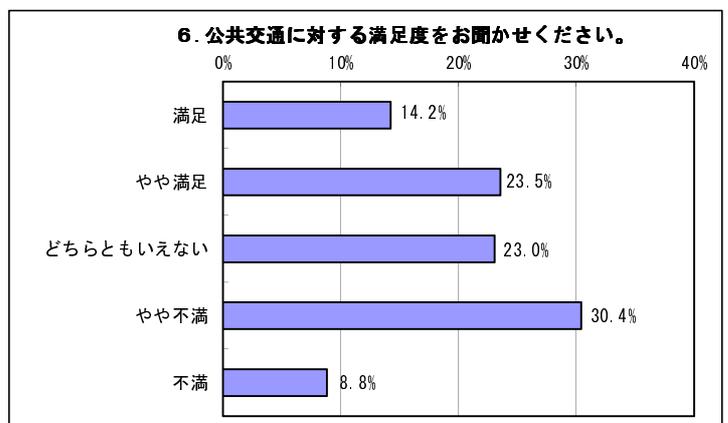
4. Q1で「1. 週に5回以上利用している」、「2. 週に3～4回利用している」又は「3. 週に1～2回利用している」を選択された方にお聞きします。公共交通を利用される際の主な目的地の所在を教えてください。→この設問(Q4)を回答された方はQ6へ	回答数	回答対象者	比率
居住する市町村内	35	110	31.8%
居住する市町村外で県内	28		25.5%
県外	45		40.9%
その他(自由記載)	2		1.8%
総計	110		100.0%



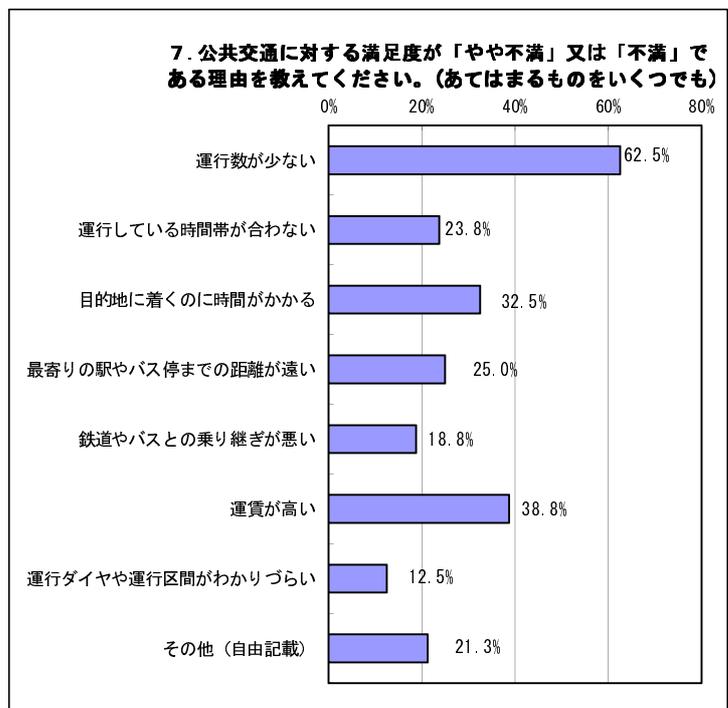
5. Q1で「4. ほとんど利用していない」又は「5. 全く利用していない」を選択された方にお聞きます。普段利用されている主な交通手段を教えてください。	回答数	回答対象者	比率
自宅の自家用自動車	71	94	75.5%
自宅外の自家用自動車(送迎車を含む)	0		0.0%
自家用自動二輪車	3		3.2%
自家用自転車	11		11.7%
徒歩	9		9.6%
その他(自由記載)	0		0.0%
総計	94		100.0%



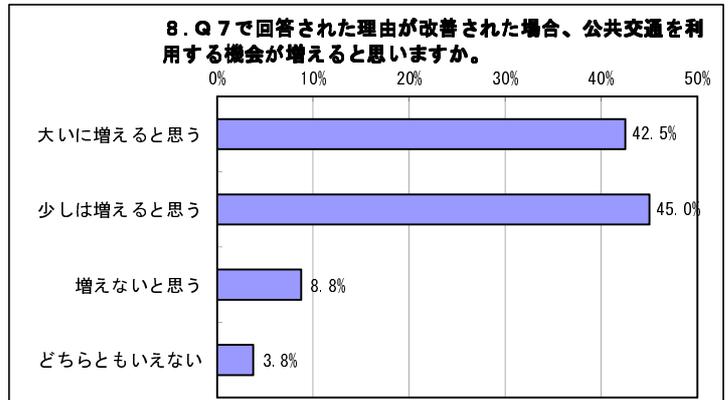
6. 公共交通に対する満足度をお聞かせください。この設問(Q6)で「1. 満足」、「2. やや満足」又は「3. どちらともいえない」を選択された方はQ9へ、「4. やや不満」又は「5. 不満」を選択された方はQ7へ	回答数	回答対象者	比率
満足	29	204	14.2%
やや満足	48		23.5%
どちらともいえない	47		23.0%
やや不満	62		30.4%
不満	18		8.8%
総計	204		



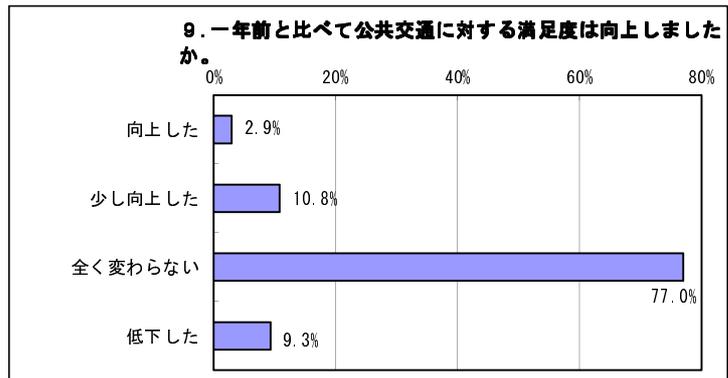
7. Q6で「4. やや不満」又は「5. 不満」を選択された方にお聞きます。その理由を教えてください。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
運行数が少ない	50	80	62.5%
運行している時間帯が合わない	19		23.8%
目的地に着くのにかかる時間が長い	26		32.5%
最寄りの駅やバス停までの距離が遠い	20		25.0%
鉄道やバスとの乗り継ぎが悪い	15		18.8%
運賃が高い	31		38.8%
運行ダイヤや運行区間がわかりづらい	10		12.5%
その他(自由記載)	17		21.3%
総計	188		



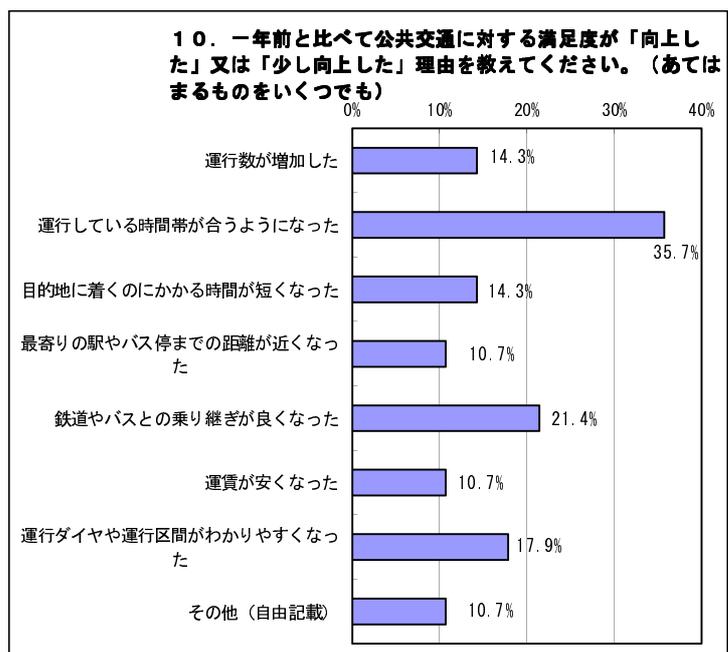
8. Q6で「4. やや不満」又は「5. 不満」を選択された方にお聞きます。 Q7で回答された理由が改善された場合、公共交通を利用する機会が増えると思いますか。	回答数	回答対象者	比率
大いに増えると思う	34	80	42.5%
少しは増えると思う	36		45.0%
増えないと思う	7		8.8%
どちらともいえない	3		3.8%
総計	80		100.0%



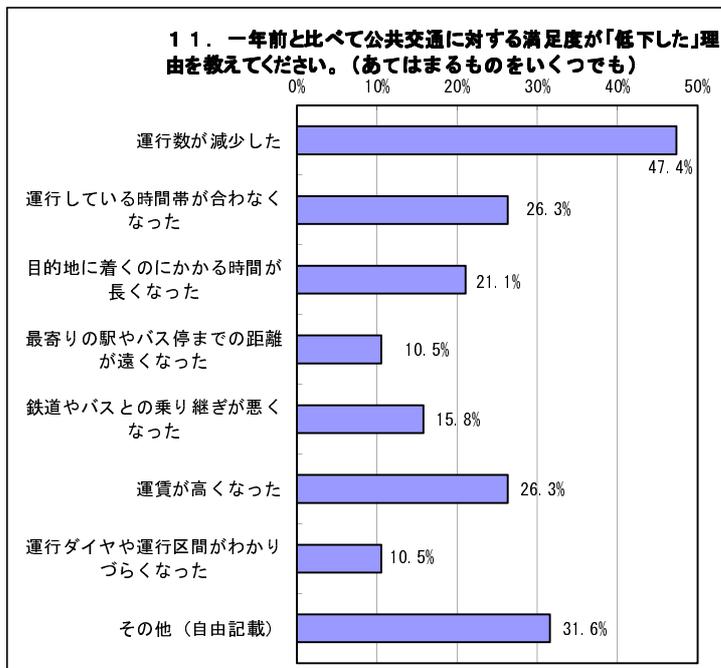
9. 一年前と比べて公共交通に対する満足度は向上しましたか。 →この設問(Q9)で「1. 向上した」又は「2. 少し向上した」を選択された方はQ10へ、「3. 全く変わらない」を選択された方はQ12へ、「4. 低下した」を選択された方はQ11へ	回答数	回答対象者	比率
向上した	6	204	2.9%
少し向上した	22		10.8%
全く変わらない	157		77.0%
低下した	19		9.3%
総計	204		100.0%



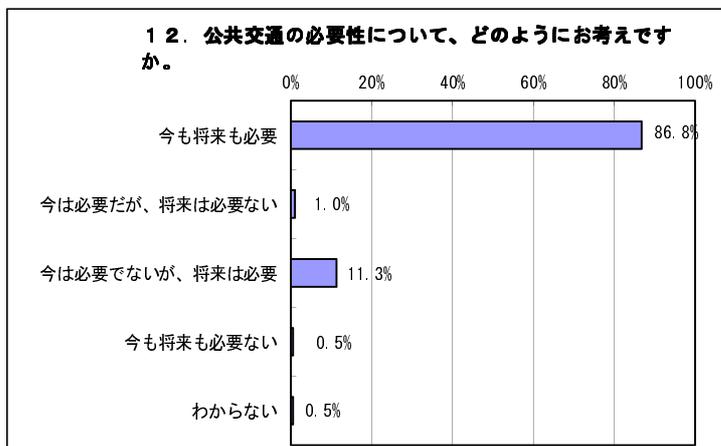
10. Q9で「1. 向上した」又は「2. 少し向上した」を選択された方にお聞きます。 その理由を教えてください。(あてはまるものをいくつかでも) →この設問(Q10)を回答された方はQ12へ	回答数	回答対象者	比率
運行数が増加した	4	28	14.3%
運行している時間帯が合うようになった	10		35.7%
目的地に着くのにかかる時間が短くなった	4		14.3%
最寄りの駅やバス停までの距離が近くなった	3		10.7%
鉄道やバスとの乗り継ぎが良くなった	6		21.4%
運賃が安くなった	3		10.7%
運行ダイヤや運行区間がわかりやすくなった	5		17.9%
その他(自由記載)	3		10.7%
総計	38		-



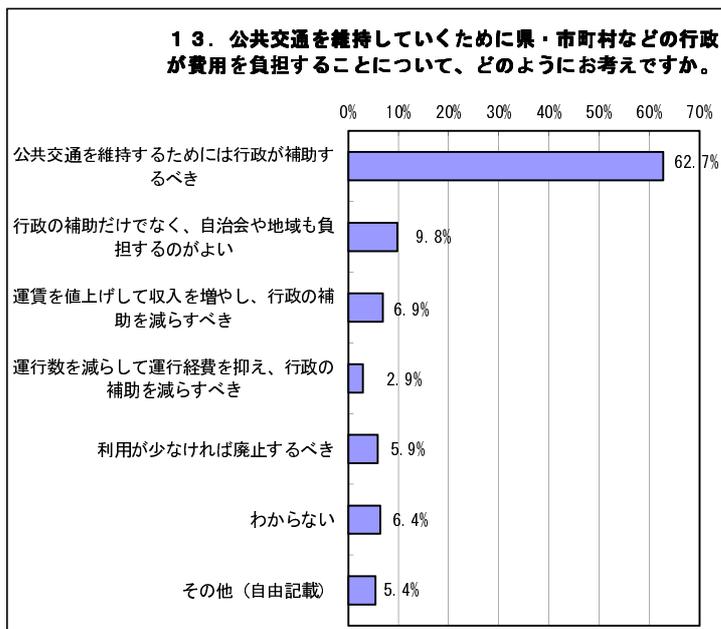
11. Q9で「4. 低下した」を選択された方にお聞きします。 その理由を教えてください。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
運行数が減少した	9	19	47.4%
運行している時間帯が合わなくなった	5		26.3%
目的地に着くのにかかる時間が長くなった	4		21.1%
最寄りの駅やバス停までの距離が遠くなった	2		10.5%
鉄道やバスとの乗り継ぎが悪くなった	3		15.8%
運賃が高くなった	5		26.3%
運行ダイヤや運行区間がわかりづらくなった	2		10.5%
その他(自由記載)	6		31.6%
総計	36		-



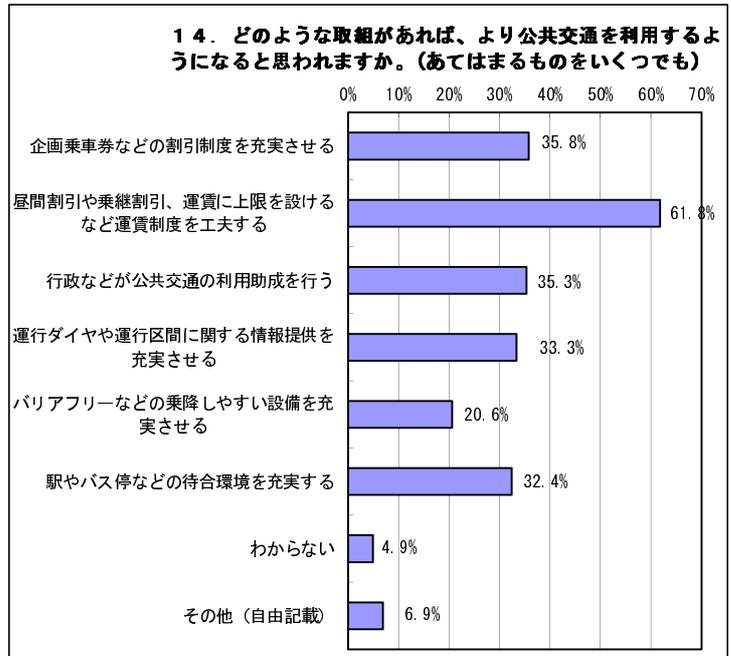
12. 公共交通の必要性について、どのようにお考えですか。	回答数	回答対象者	比率
今も将来も必要	177	204	86.8%
今は必要だが、将来は必要ない	2		1.0%
今は必要でないが、将来は必要	23		11.3%
今も将来も必要ない	1		0.5%
わからない	1		0.5%
総計	204		100.0%



13. 公共交通を維持していくために県・市町村などの行政が費用を負担することについて、どのようにお考えですか。最もよく当てはまるものを選択してください。	回答数	回答対象者	比率
公共交通を維持するためには行政が補助するべき	128	204	62.7%
行政の補助だけでなく、自治会や地域も負担するのがよい	20		9.8%
運賃を値上げして収入を増やし、行政の補助を減らすべき	14		6.9%
運行数を減らして運行経費を抑え、行政の補助を減らすべき	6		2.9%
利用が少なければ廃止するべき	12		5.9%
わからない	13		6.4%
その他(自由記載)	11		5.4%
総計	204		



14. どのような取組があれば、より公共交通を利用するようになると思われますか。(あてはまるものをいくつか)	回答数	回答対象者	比率
企画乗車券などの割引制度を充実させる	73	204	35.8%
昼間割引や乗継割引、運賃に上限を設けるなど運賃制度を工夫する	126		61.8%
行政などが公共交通の利用助成を行う	72		35.3%
運行ダイヤや運行区間に関する情報提供を充実させる	68		33.3%
バリアフリーなどの乗降しやすい設備を充実させる	42		20.6%
駅やバス停などの待合環境を充実する	66		32.4%
わからない	10		4.9%
その他(自由記載)	14		6.9%
総計	471		-



15. その他公共交通の満足度に対するご意見等がございましたらお聞かせください。(任意回答)	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	76	-	-

(一部抜粋)

今は自家用車で動いているので必要ありませんが、近い将来、高齢となり運転できなくなるときが来るので、公共交通機関は必要です。
 買い物は郊外型のために電車の駅と次の駅までを大回りで回る循環バスも考えてもらえたらありがたいです。

県北中部の都市部は公共交通も充実していると思いますが、南部等農山村地域では決して満足のいくものではないと思います。農山村地域に限って、行政等の助成がなければ赤字がかさむため、運行数が減少したり、運行が廃止になる恐れが増加すると思います。

今後ますます高齢者などの交通弱者が増えていくなかで、公共交通の役割は大きくなると考えます。自治会や各小学校区単位でのきめ細やかな路線運行により利用者を増やすのと同時に、地方自治体だけでなく、自治会や周辺事業者などの支援もいれて、地域全体で地域公共交通を維持できるようにしていく必要があると考えます。

公共交通は地域活性化に必須だと思います。公共交通の衰退が地域の衰退になっています。公共交通である駅は、その地域の中心だと思いますので、駅の充実が必要だと思います。
 行政が地域活性化を推進するのであれば、行政が公共交通の推進のために、ある程度の補助が必要だと考えます。

バスの運行数が減ると、あてに出来ず利用者も減るのではないのでしょうか。高齢者が増え、運転免許書を返納する人が増えるなかで、公共交通の充実が望まれると思います。公共交通が充実されていると、免許返納も進むのではないのでしょうか。